

廣澤新教務所長が着任□1
 新・祖蹟点描□3
 響流十方、教区・別院予算□6
 平和を希う念仏者の集い□7
 阿弥陀さまと私□8



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2020年(令和2年)
 7月1日
 第124号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

「共に生きる」社会の再生を



例年なら参拝者でにぎわう鷺森別院二尊会も出勤法中1人と別院職員でのお勤め(5月14日)

新型コロナ対応で

メッセージ

廣澤新教務所長が和歌山に着任

4月1日付の人事異動で、2018年(平成30)4月1日から2年間和歌山教区教務所長・鷺森別院輪番などを務めた仲尾信博師が、本願寺帯広別院へ転任。廣澤敬典師(大阪教区交野組正行寺住職)が長野教区から着任した。新型コロナウイルスの影響が続く状況での交代劇とあって、就任当初から対応に追われるなかお言葉を頂いた。

このたび、和歌山教区教務所長・本願寺鷺森別院輪番・本願寺日高別院輪番・鷺森幼稚園園長を拝命いたしました。蓮如上人、顕如上人の由緒地であります和歌山教区にご縁を頂き、まことに身の引き締まる思い

とともに、責務の重さを痛感いたしております。

さて、依然として新型コロナウイルスが世界中で猛



廣澤敬典

1965年(昭和40)生まれの54歳。1990年(平成2)10月に浄土真宗本願寺派宗務所に入所。2012年(平成24)6月から国府教区教務所長・本願寺国府別院輪番、築地本願寺首都圏開教推進部長、長野教区教務所長・本願寺長野別院輪番を歴任。

威を振るい、感染された方亡くなられた方の数は増加を続けております。罹患された方には心よりお見舞い申しあげます。感染拡大により、ご本山をはじめ全国の別院におきまして法要・行事が中止や延期となりましたほか、宗派、教区、組における各種会議・研修会も同じく中止や延期となりましたことに

より、宗務にも大きな影響を及ぼすこととなりました。和歌山教区および鷺森別院におきましても、2月中旬以降の行事や会議は中止または内容を変更して開催し、5月13日から16日の「二尊会」も、参拝奨励や出勤依頼をせず、ほぼ職員だけでお勤めいたしました。

各ご寺院におきましてもほとんどのご法座が中止されたとお聞きしております。このような状況を受け、宗派では寺院活動の支援を目的とし、寺院教化助成費が交付されることになりました。和歌山教区でも教区賦課金納入奨励のため、組への教化助成費の交付基準を今年度のみ変更することを検討しております。

日本国内では小康状態が保たれていることから、5月25日、すべての都道府県で政府による緊急事態宣言が解除されました。

都道府県をまたいでの移動自粛も6月19日に解除さ

②面へ続く

①面から続く

れましたが、繁華街などではクラスター感染が散発していることから、第2波第3波の流行が発生しないよう注意を払いながら日常生活を取り戻すべく日々を過ごしていることでもあります。

感染予防措置の実施による余波は避けがたい状況で私たちの教団は、伝道教団でありながら伝道する手立てが限られた大変厳しい環境に置かれております。

しかし、このようなときこそ、私たちは冷静さを失わず、力を合わせてこの難局を乗り越えなければなりません。新型コロナウイルス感染症の危険性や対処法を正しく理解し、実行するとともに、差別や偏見が広がらないよう、一人ひとりがお互いに思いやりの心をもって注意深く行動していく必要があります。

現代の世界情勢から鑑みますと、国家や社会のレベルにおいては自国の経済や文化を優先する排他的で閉

鎖的な在り方が席卷し、さまざまな対立や紛争の引き金となっており、個人レベルでは、自己努力と自己責任という名目のもと、かつては誰もが持っていた「共

響聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」に向け、将来を見据えた諸事業を推進しています。ご門主さまご教導のもと、み教えに生かされて、み教

ですが、これまでの宗務経験を活かしつつ、微力ながらもご法義繁盛・教団のさらなる活性化のため精進努力いたします所存でありますので、より一層のお力添えを

お互いを思う心が差別や偏見防ぐ

3人の方が距離を保ちながら参拝した6月15日の永代経法要(鷲森別院書院)



えをひろめ、自他共に心豊かに生きることでできる社会の実現に貢献するためにも、「念仏者の生き方」のお心を体し、共に協力し合い、仏恩報謝の努めを果たしてまいりたいと思います。

賜りますようお願い申し上げます。組長の任期満了に伴い、各組から左記の通り組長が選出がされた。6月1日には改選後第1回の組長会が鷲森別院で行われ、組長代表には宇多光誠師(伊那組)、副代表には志場正敏師(有賀組)と永原智行師(日高組)が就任した。任期は2020年(令和2)4月1

組長改選

新勤式指導員に西永月潭師

に生きる」という視点が薄れ、孤独や孤立が深刻な問題となっております。

1998年(平成10)4月1日から22年間にわたって和歌山教区の新勤式指導員を務めた藤岡大祐師(伊那組照光寺住職)が、3月31

日に退任。後任には、西永月潭師(和歌山組西教寺住職)が就任した。藤岡師には長年のご尽力に厚くお礼申しあげます。

教区会議員改選

日から2024年(令和6)3月31日までの4年間。▽和歌山組・佐々木敏宏(専養寺)▽和歌山東組・藤齊眞理(正願寺)▽和歌山西組・脇坂元信(光源寺)▽和歌山北組・山本法道(浄永寺)▽加茂組・齋藤恵道(青蓮寺)▽海南組・加藤義秀(光徳寺)▽海草組・長谷川義昭(報徳寺)▽伊那組・宇多光誠(光明寺)▽有賀組・志場正敏(正善寺)▽有田南組・雜賀聰(善照寺)▽有田北組・川嶋周藏(光明寺)▽日高組・永原智行(教専寺)▽御坊組・青木和教(明鏡寺)▽紀南組・眞田陵(浄行寺)※敬称略。

教区会議員の任期満了に伴い、各組から左記の方が教区会議員に選出された。これに伴い5月29日に臨時教区会が開催され、教区会議長に北條一穂師(紀南組)、副議長には太田雄造氏(和歌山組)が選出された。任期は組長と同じく4年間。▽和歌山組・僧侶・玉置證(養専寺)、門徒・太田

雄造(専念寺)▽和歌山東組・僧侶・木村俊隆(善正寺)、門徒・東岡百合子(蓮光寺)▽和歌山西組・僧侶・廣田芳英(安楽寺)、門徒・八尾進(正善寺)▽和歌山北組・僧侶・武内善信(善勝寺)、門徒・保田史郎(浄源寺)▽加茂組・僧侶・寺本泰宣(教徳寺)、門徒・岩本武雄(遍照寺)▽海南組・僧侶・中岡俊樹(願成寺)、門徒・立花美一(浄國寺)▽海草組・僧侶・稲垣貴史(蓮乗寺)、門徒・金谷善進(真宗寺)▽伊那組・僧侶・中田三恵(教善寺)、門徒・谷口庄亮(西照寺)▽有賀組・僧侶・今井信正(大光寺)、門徒・宗泰雄(正善寺)▽有田南組・僧侶・平林宗樹(福藏寺)、門徒・田中正博(福藏寺)▽有田北組・僧侶・佐々木信彦(教念寺)、門徒・生駒勲(専教寺)▽日高組・僧侶・片桐浄映(円行寺)、門徒・山名実(念興寺)▽御坊組・僧侶・柳岡直樹(常照寺)、門徒・細谷廣延(専福寺)▽紀南組・僧侶・北條一穂(妙道寺)、門徒・松下紀昭(覚照寺)※敬称略。

新

祖蹟点描

26 叡福寺



「聖徳皇太子磯長御廟」の石碑が立つ叡福寺門前

前回まで10回をかけて、親鸞聖人が生涯の師と仰ぐことになる法然聖人(法然房源空聖人、1133~1212)のご誕生から66歳で『選択本願念仏集』を著されるまでのご足跡をたどってきた。

親鸞聖人は法然聖人より40歳年下だから、法然聖人が『選択本願念仏集』を撰述されたとき、26歳。いわゆる「六角堂の夢告(夢のお告げ)」を経て、法然聖人のもとへと赴かれるのが29歳のことだから、お二人の出会いの時が近づいているのである。

「磯長の夢告」の物語を縁として

から夢告を授かったという「磯長の夢告」の舞台とされてきた叡福寺である。

叡福寺の境内の奥に鎮座する聖徳太子廟には、622年(推古天皇30)2月22日に斑鳩宮で亡くなった聖徳太子(厩戸王、574~622)と、その前日に亡くなった太子の妃・膳菩岐々美郎女、前年12月21日に亡くなった太子の母・穴穂部間人皇后が葬られているという。三棺が横穴式石室に合葬されて御廟所が設けられていることから、

ソードが初めて登場したのは、江戸時代も中期になった1717年(享保2)、親鸞聖人の直弟子・真仏や顕智の流れをくむ真宗高田派の学僧・五天良空(1669~1733)が著した親鸞聖人の伝記『高田親鸞聖人正統伝』のなかである。

そのエピソードとは、1911年(建久2)初秋、法隆寺の覚運僧都の坊に60日余り滞在して因明(仏教論理学)を学ばれた親鸞聖人は、これを幸いと、9月12日に「磯長聖徳太子の御廟」に参詣。同13日から15日まで御廟におこもりされたところ、2日目の深夜を過ぎたころ、「夢の如く幻の如く」聖徳太子が自ら石の戸を開いて現れ、まばゆい光がいわゆる内部を照らし出すなか、お言葉を下されたというもの。

「三骨一廟」と呼ばれ敬われてきた。

その廟幅内の石面に聖徳太子が記したという「廟幅偈」に、聖徳太子と妃を觀音菩薩・勢至菩薩、太子の母を阿弥陀仏の化身と表現していることから、「弥陀三尊」顕現の聖地としても信仰を集めた。

聖徳太子のお言葉とは、「我が三尊は塵沙の界を

化す。日域は大乗相応の地なり。諦に聴け諦に聴け我が教令を。汝が命根は心に十余歳なるべし。命終りて速やかに清浄土に入らん。善く信ぜよ善く信ぜよ真の菩薩を(原漢文)」

その前に訪ねておきたい場所がある。それは親鸞聖人が19歳のときに聖徳太子

「夢のごとく幻のごとく」とはいえ、聖徳太子ご自身が現れてお言葉を下されたというのだから、ただ事ではない。まさに決定的な場面と言える。

お言葉のなかの「汝が命

次ページへ続く



来年の「聖徳太子1400年御遠忌大法会」を知らせる高札

「磯長の夢告」のエピソード

「我が三尊は塵沙の界を

次ページへ続く

前ページから続く

根は心に十余歳なるべし」は、親鸞聖人の心に謎の問い掛けを残しながら、28歳の「比叡山大乗院の夢告」、29歳の「六角堂の夢告」へとつながっていくのだが、そのストーリーも魅力的で、刊行当初から爆発的な人気を博したのもうなずける。ただし、このエピソードも含めて「史実か否か」という観点で見ると、『正統伝』には大きな注意が必要である。

著者の良空は『正統伝』

広い境内に金堂や聖霊殿



叡福寺の本尊・如意輪観音を安置する金堂

さらに室町時代初期に成立した作者不詳の『親鸞聖人御因縁秘伝鈔』などを参照しながら書かれたことが克明に分析されており、『正統伝』『正明伝』の史料価値をうんぬんできるような現状ではないのである。しかし「磯長の夢告」の物語を縁としてあれ、叡福寺に参拝して聖徳太子の存在に思いをはせるのは極めて有意義なことである。聖徳太子こそ、親鸞聖人が「和国の教主」（日本のお釈迦さま）と呼んで、特別ともいえる尊崇の念を捧

聖徳太子の御廟所を守る寺

『御伝照蒙記』、東本願寺・敷きにして創作され、『正統伝』の『叢林集』などを下、明伝は『正統伝』の上に

を「高田本伝」「四巻伝」「下野伝」など、高田派の本山である専修寺に秘蔵されていた親鸞聖人の「実伝」をもとに書いたと自序などに記している。しかも『正統伝』の16年後には、本願寺の存覚上人が高田派の専修寺から聞き書きしたという触れ込みの「四巻伝」そのものかと思われる物語を、『親鸞聖人正明伝』として刊行している。しかし、良空が依拠したという「高田本伝」などの史料は、現在まで発見されていない。それどころか、最新の研究によって、『正統伝』は高田派・普門の『絵伝撮要』、西本願寺・知空の



「1400年御遠忌大法会」ののぼりが列をなす聖徳太子墓への参道

げられた方だからである。聖徳太子といえは、用明天皇の長男として生まれ、叔母で最初の女性天皇となった推古天皇(554〜628)を助けて蘇我馬子(〜626)と共に内政・外交に活躍。「冠位十二階」や「十七条憲法」を制定、遣隋使を派遣して小野妹子らに大陸の最新の文物を学ばせた。また、十七条憲法の第二条に「篤く三宝を敬え」とあるように仏教の興隆に尽力、法隆寺や四天王寺などを創建、法華経・勝鬘経・維摩経の注釈(三経義疏)も著した。

聖徳太子と等身大に造られたといわれる法隆寺金堂の釈迦如来坐像(釈迦三尊像の中尊部分)



叡福寺境内の奥に鎮座する「聖徳太子墓」は、丘陵を利用した南北約43段、東西約53段、高さ約11段の円墳

法隆寺・四天王寺と共に太子信仰の中心



聖徳太子が607年に創建した法隆寺へも足を伸ばしたい。車なら叡福寺から約40分。写真は金堂(手前)と五重塔。現在の諸堂は711年ごろまでに整えられた

聖徳太子のご事跡は、奈良時代前期の720年(養老4)に完成した『日本書紀』の記述からして、10人の訴えを同時に聞き分け、未来の出来事を予知したなど、超人的逸話に彩られている。同じく奈良時代前期には、中国天台宗の第2祖・南岳大師慧思(515〜577)の生まれ変わりであるとの伝説が広まり、さらに平安時代中期に太子伝を集大成した『聖徳太子伝暦』によって、聖徳太子は観音菩薩の化身であるとされた。親鸞聖人の時代には、すでに聖徳太子は「信仰」の対象となつて久しかったのである。それにしても、親鸞聖人は、生涯に510余首の和讃をつくられているが、83歳で『皇太子聖徳奉讃』75首、85歳で『大日本国粟散王聖徳太子奉讃』114首、86歳で『正像末和讃』「皇太子聖徳奉讃」11首をつくられ、合わせて200首もの和讃で聖徳太子の高徳を讃えられているのは、破格の扱いというほかない。

『正像末和讃』に、「救世観音大菩薩聖徳皇」と示現して多々のごとくすてずして阿摩のごとくにそひたまふ(註釈版聖典615頁)と親鸞聖人はうたわれる。最初に訪れたときと違つのは、山門へ上がる階段の手前に、来年4月10日から5月11日に奉修される「聖徳太子1400年御遠忌」を知らせる看板と高札が立ち、境内にも「一四〇〇年御遠忌大法会」と染め抜いたのぼりが列をなし、大きな節目の法要への雰囲気盛り上げていること。山門をくぐると、広々とした境内の100坪ほど先に、樹木の生い茂った小山を望みえる。これが聖徳太子のお墓だが、境内には叡福寺の本尊・如意輪観音菩薩を安置する金堂や、聖徳太子16歳像と2歳像を安置する聖霊殿なども立ち並び、まさに聖徳太子を顕彰するお寺であり、今も聖徳太子のお心が息づいているお寺なのである。

親鸞聖人、200首の和讃で太子たたえる

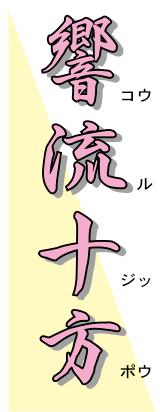
親鸞聖人にとって、聖徳太子は確かに観音菩薩が人々を苦から救うためにこの世に現れた姿であり、慈父のごとく捨ておかず、慈母のごとく寄り添ってくれる存在だったのである。筆者が叡福寺を参拝するのは10年ぶり2度目だが、

【参考文献】『大系真宗史料・伝記編1 親鸞伝』(法蔵館)、塩谷菊美「親鸞聖人正明伝」と知空著『御伝照蒙記』一伝存覚作の実態(同朋大学仏教文化研究所紀要29号所収)、同『語られた親鸞』(法蔵館)、山田雅教「伝親鸞作『三夢記』の真偽について」(高田学報75号所収)、同「再論 伝親鸞作『三夢記』の真偽について」(高田学報92号所収)、平松令三『親鸞』(吉川弘文館)、東野治之「聖徳太子―ほんとうの姿を求めて」(岩波ジュニア新書)、石田尚豊編集代表「聖徳太子事典」(柏書房)

(本紙編集部)

叡福寺

場所 大阪府南河内郡太子町太子2-14-6
電話 0721-0980019
交通 近鉄「大阪阿倍野橋」駅から徒歩28分、「上ノ太子」駅下車。同駅から金剛バスで8分、「太子前」下車、すぐ。



7～9月の催し

本山

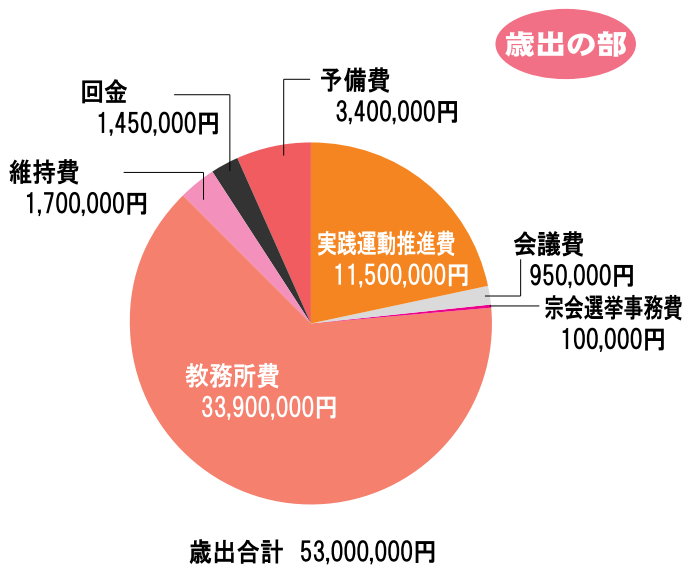
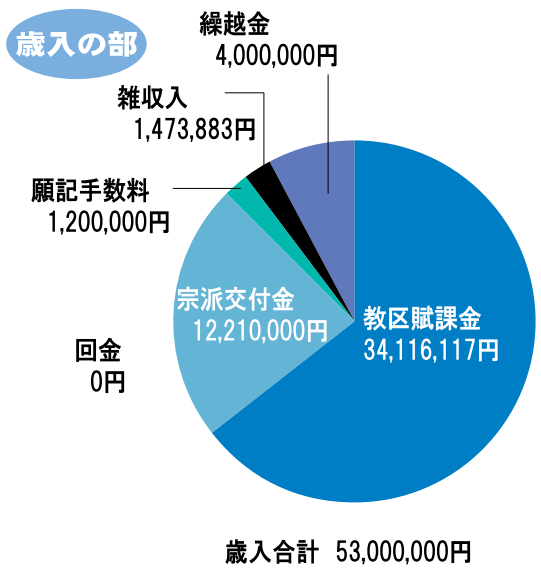
- 8月6～10日 朝の法座(大谷本廟)
- 8月14～15日 盂蘭盆会
- 8月15日 戦没者追悼法要、夏御文章御収軸式
- 9月18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)※内容変更
- 9月19～25日 秋季彼岸会

和歌山教区

- 7月2日 少年連盟総会(鷺森別院)
 - 7月9日 平和を希う念仏者の集い(鷺森別院)
 - 7月28日 ビハーク和歌山総会・研修会(鷺森別院)
 - 8月24日 布教団連続法座(鷺森別院)
 - 8月29日 寺族青年連盟委員会・総会(鷺森別院)
- ※新型コロナウイルスの影響で、中止または延期する場合があります。

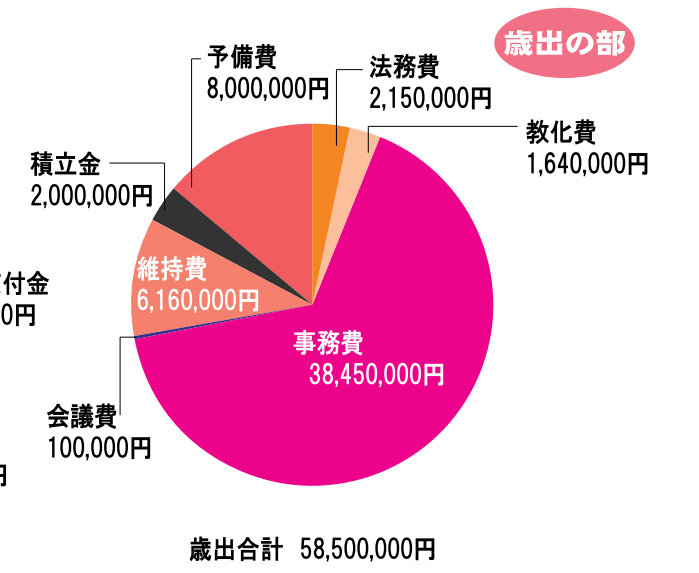
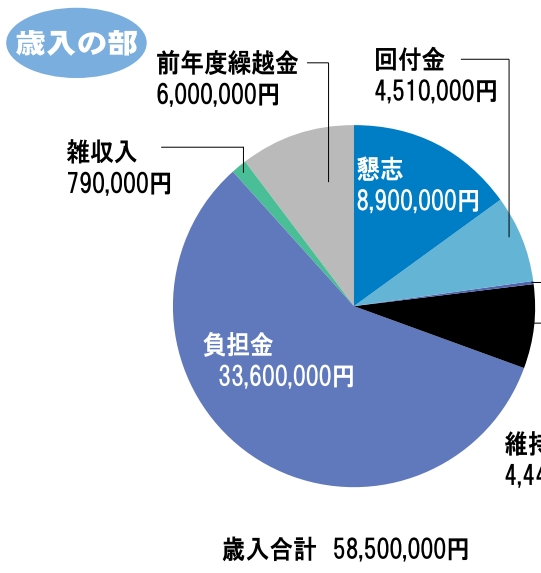
2020(令和2)年度和歌山教区一般会計歳計予算

(2020年4月1日～2021年3月31日)



2020(令和2)年度本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

(2020年4月1日～2021年3月31日)



ねが 平和を希う念仏者の集い

— 全戦没者追悼法要 —

7月9日 今年は各組から5人程度の参拝



昨年の全戦没者追悼法要の様子

実践運動和歌山教区委員会では、1945年(昭和20)に和歌山市大空襲のあった7月9日、鷺森別院で恒例の「平和を希う念仏者の集い—全戦没者追悼法要—」を開催する。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため規模を縮小し、法要には第1ブロックの6組から各1人が出勤。参拝は各組5人程度とする。当日は、午後1時30分から追悼法要をお勧め、2時20分から約30分、島和夫師(和歌山教区布教団副団長、和歌山組西寛寺住職)の法話を聴聞する。

行事中止のお知らせ

本年度予定されていた左記行事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

- 若婦人中央研修会修了者のつどい(総連盟主催)
- 第43回西本願寺近畿地区仏教婦人会大会(兵庫教区担当)
- 近畿ブロック寺族婦人研修会(滋賀教区担当)
- 布教団
- 布教講会(浄土真宗本願寺派)
- 第3連区布教使研修会(京都教区担当)
- 少年連盟
- 児童念仏奉仕団(本願寺)
- 寺族女性研修会(宗派)
- 和歌山教区式委員会
- 勤式講習会(本年度は中止)
- 仏教青年連盟
- 全国真宗青年の集い
- 仏教壮年会連盟
- 第23回全国仏教壮年備後大会
- 寺族青年連盟
- 全国寺族青年軟式野球大会

教師

3月(5月11日付修了)
脇坂大輝(和歌山西組光源寺)
岩清水成海(海草組西坊寺)

敬弔

中山伊佐子(和歌山北組光源寺前坊守) 4月9日
和本順子(海南組西法寺前坊守) 4月9日
藤田孝雄(日高組西教寺住職) 6月12日

ご生前のご活躍ご尽力に感謝申し上げます。謹んで敬弔の意を表します。

教区仏壮理事改選

和歌山教区仏教壮年会連盟では、任期満了に伴う理事改選で下記の理事が選出された。

任期は2020(令和2)年4月1日から2023(令和5)年3月31日までの3年間。

▽理事長・竹本淳一(和歌山組西法寺)▽副理事長・中野孝司(和歌山東組玄通寺)、同・前川幸三(伊那組西照寺)▽監事・神保豊(和歌山西組浄福寺)▽監事・大前和久(有田南組證大寺)▽評議員・森下将美(日高組浄明寺)▽理事・栗本博明(和歌山北組浄永寺)、小浦久基(加茂組教徳寺)、佐々木康伸(海南組光徳寺)、中川幸宣(海草組蓮乗寺)、藤岡寛光(有賀組専念寺)、御前学司(有田北組光源寺)、工徳一夫(日高組念興寺)、西山英雄(御坊組一念寺)、久堀義友(紀南組善福寺) ※敬称略。

鷺森別院の催し

■ 五蘭盆会
8月15日、午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀経をお勤め。その後、午後3時まで法話を聴聞する。

■ 秋季彼岸会
9月21日、彼岸会をお勤めする。午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀経をお勤め、引き続き午後3時まで

法話を聴聞する。

常例法座

7月15、16日、柱本惇師(京都市下京区新町通・明覺寺)。9月15、16日、赤松普官師(赤穂郡上郡町・専稱寺)。毎座、午後1時30分からお勤め、その後3時30分まで法話を聴聞。

(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-422-4677)

日高別院の催し

■ 秋季彼岸会
9月未定、午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀経をお勤め。その後、午後3時頃まで廣澤敬典(本願寺日高別院輪番)の法話を聴聞する。

(本願寺日高別院 御坊市御坊100 電話0738-122-0518)

